

つがる市議会だより

9月定例会

の内容をお知らせします

第46号 平成27年11月発行

定例会の概要	2～4	第3回臨時会の概要	10
一般質問	5～8	所管事務調査	11
予算決算特別委員会の審査	9	クールつがる・議会の動き	12
総括質疑	10		

た か ら おらほのご長寿

稲垣地区

黒滝 まささん
103歳



議員定数2名削減を議員発議

(関連記事2頁)

つがる市議会9月定例会

会期16日間 9月3日～9月18日



【今定例会の議案】

市長提出議案 … 17件 (27年度各会計補正予算・26年度各会計決算10件 ほか 議案7件)

議員提出議案 … 2件 (つがる市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例)
(つがる市議会会議規則の一部を改正する規則)

請 願 … 2件 (11ページ参照) 計 21件 (ほか報告2件)

※各議案を、原案のとおり可決・認定しました。請願2件のうち1件は不採択となりました。全ての議案名は市のホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

議員発議による 議員定数削減条例案可決

次期一般選挙(2019年2月)より議員定数18名へ

今定例会で議会改革検討特別委員長が、議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案を上程し可決されました。これは、議員定数を削減するために提案されたものです。反対討論、賛成討論を経た起立採決の結果は、賛成17票、反対2票でした。以下、提案理由及び反対討論、賛成討論の要旨をお伝えします。(賛否結果次頁下段※)

提案理由 (長谷川 徹 議会改革検討特別委員長)

人口減少はじめ、先行き不透明な財政状況を見据え、行財政改革の一翼を担う議会として、自らの意思で効果の見える改革を行わなくてはならない。また、今後、議会改革を進める上で、議会中継システムやタブレット導入も予定され、削減の効果額は、これらの改革の財源の一部に充てることができるものでもある。行政執行の適正さや有効性評価、監視などを考慮した定数であるべきとの認識から、2名削減の新定数18名を提案する。

反対討論 松橋 勝利 議員

今後も少子高齢化が進行する見込みであり、地域の少数意見が市政に届きにくくなることを危惧する。また、なぜ改選後1年も経ていないこの時期の提案なのかも疑問である。定数削減ではなく議員報酬削減で財政改革に寄与すべきであり、議員数削減には反対する。

賛成討論 佐藤 孝志 議員

基幹産業である農業、特に米価の下落等により市民生活は厳しい状況にある。また、人口減少による税収の落ち込みも予想される中、議員自らが身を切る改革を示すべきである。議員は一層責任を自覚し、市民の声を市政に届けるとともに、自らの資質向上に努め、切磋琢磨しながら市民の付託に応えていくべきであり、それも定数削減効果のひとつと考える。また削減は選挙が近づいてから行うのではなく、十分な周知を図れる点からこの時期が適切と考える。2期連続とはなるが定数削減に賛成する。

平成26年度一般会計決算の状況			※1万円未満四捨五入
収	入	252億2,022万円	
支	出	245億7,497万円	
繰越金（翌年度へ繰り越したお金）		1億9,389万円	
実質収支（残ったお金）		4億5,136万円	

平成26年度の主な事業

- 市民特別健診事業 2億2,508万円
- 地域住宅支援事業（桜木団地建替え） 5億5,136万円
- 消防施設整備事業 3億1,295万円
- 合併10周年記念事業 1,347万円
- 大雨被害農業者支援補助金 1,978万円
- つがるブランド推進会議補助金 2,825万円

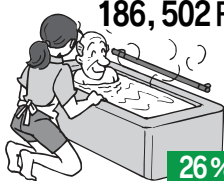
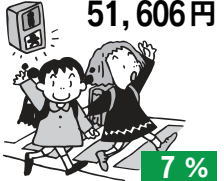
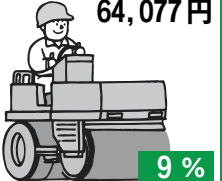
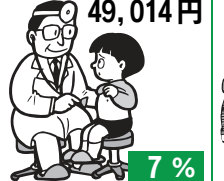
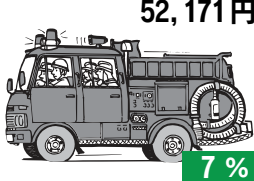
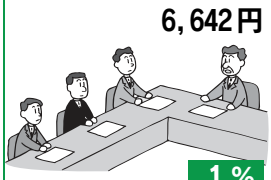
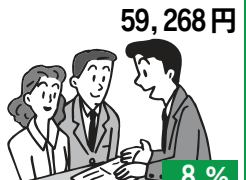
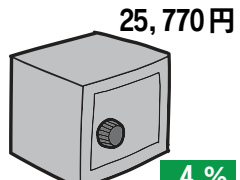
一般会計 市民一人あたりの支出 **707,417円** ※小数点以下四捨五入
人口 34,739人（平成27年3月末現在 外国人を含む）で単純に算出したものです。

平成26年度一般会計予算はこのように使われました

平成26年度一般会計決算額を市民一人あたりでみた場合、市民の皆さんが負担した市税（市民税・固定資産税など）は69,931円で、市民の皆さんのために使われた予算は707,417円になりました。この差額は、地方交付税はじめ国・県支出金などで賄われています。

各項目を一人あたりの支出に換算すると

パーセンテージについては端数調整をしています

福祉・社会保障のために  186,502円 26%	教育などのために  51,606円 7%	道路などの整備に  64,077円 9%	保健や環境衛生などに  49,014円 7%	消防・防災対策などに  52,171円 7%
農業・商工・観光振興などに  118,378円 18%	議会運営のために  6,642円 1%	その他のサービスなどに  59,268円 8%	基金（預金）積み立てに  25,770円 4%	公債費（借入金の返済）に  93,991円 13%

平成26年度特別会計決算の状況				※1万円未満四捨五入	
区 分	収 入	支 出	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支	
農 業 集 落 排 水 事 業	7億1,139万円	7億1,022万円	0	117万円	
公 共 下 水 道 事 業	6億3,963万円	6億3,859万円	0	104万円	
国 民 健 康 保 険	56億6,119万円	54億3,687万円	0	2億2,432万円	
後 期 高 齢 者 医 療	6億5,004万円	6億4,496万円	0	508万円	
介 護 保 険	42億9,568万円	42億9,177万円	0	391万円	

※ 賛 否 結 果																								
議 案 番 号	議席番号及び 議員名 件 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	賛 成	反 対	議決結果
		齊藤 渡	田 中 透	佐々木敬藏	長谷川榮子	成田 博	木村 良博	佐藤 孝志	長谷川 徹	三上 洋	野呂 司	天坂 昭市	成田 克子	佐々木直光	佐々木慶和	平川 豊	山本 清秋	伊藤 良二	松橋 勝利	白戸 勝茂	高橋 作藏			
発 議 第 3 号	つがをる市議会議員の 定数を定める条例 の一部を改正する 条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	○	17	2	可決

議長は裁決に加わりません。○は賛成、×は反対。

平成二十六年 各会計決算を認定

9月定例会では平成26年度各会計の歳入歳出決算について、全議員による予算・決算特別委員会で審査し、いずれも認定すべきものと決しました。

今回の議案の中から2件をピックアップ。その内容をお伝えします。

議案第90号 つがる市消防署再編統合計画策定審議会条例

1 消防署再編統合計画策定審議会を設置し再編統合を進めます

■審議会は次に掲げる事項について調査審議し、その結果を市長に答申します。

- 1 消防署再編統合計画の策定に関すること
- 2 消防力の整備に関すること
- 3 その他再編統合について必要と認めること

■委員の構成（20人以内で組織）

つがる市議会議員
つがる市内自治会等の代表
つがる市消防団長及び地区団長
ほか市長が適当と認める者

主な質問

問 計画策定のスケジュールは。また、再編統合後の体制で業務を開始するのはいつごろになるのか。

答 本年度中に方針を定め、平成28年度より計画を策定し、平成31年4月からの業務開始を予定しています。

議案第92号 つがる市環境基本条例

2 健康で文化的な生活水準確保に寄与することを目的につがる市環境基本条例を定めます

■環境基本計画を作成し、環境保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に進めます。なお、基本計画策定に当たっては、環境審議会で審議します。

■条例が定める、市民、事業者及び市、それぞれの役割（抜粋）

- 市民…・廃棄物の排出抑制及び再生利用を図る
- 事業者…・公害発生防止のために必要な措置を講ずる
- ・資源及びエネルギーの有効活用を図り、廃棄物の排出抑制及び再生利用を図る
- ・環境保全に努め市が実施する施策に参加し協力する
- 市…・環境保全のため基本的かつ総合的な施策を策定し実施する
- ・市民の自主的な活動への取り組みを支援し率先して各種施策を推進する

主な質問

問 ごみ処分場や違法投棄の現場等を審議会委員が視察したり、定期的に巡回すべきと考えるがどうか。

答 今回情報提供のあった場所及び最終処分場等を視察するなど、適切に対応していきます。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の要旨を掲載しています。



成田 克子
芳政会

- 児童虐待防止策として、新ダイヤル189番(いち・はやく)の周知徹底を
- 不快なカラスの大群に対策を

問

本年7月1日より児童相談所全国共通ダイヤルがこれまでの10ケタから3ケタの189番(イチ・ハヤ・ク)となった。本市においても児童虐待の未然防止策として189番の周知徹底を図ってはどうか。

答

ポスターの掲示等を市役所口ビーや各施設等に依頼し周知に努めています。今後も児童相談所と連携し取り組みを進めてまいります。

問

虐待の通報には児童相談所と市が連携して対応することになるが、担当課に適切な人員配置はできているか。また、本市の相談件数は。

答

福祉課において2名が兼務で担当しております。ほか、健康推進課の保健師、教育委員会指導課の担当と日頃から連携しております。相談件数については平成26年度はゼロでした。しかし、継続的な見守り等を要する以前からのケースが11件ほどあり対応しています。

問

教職員の目配りが虐待の早期発見につながると考える。学校内でも189番の周知を図るべきではないか。

答

管内各校にポスターを配布し、保護者にも周知するよう依頼しました。また、教育要覧に頁を設け、研修資料として活用できるようにするとともに、指導課でこれに関する指導や助言をしております。保護者の養育態度に心配な面がある場合には学校と各担当課が連携し、ケース会議で情報共有するとともに適切な支援や対応を協議する体制をとっております。

問

カラスの大群の鳴き声と大量の糞に不快感を示す市民も多く環境美化の面でも問題である。なんらかの対策を講じてはどうか。

答

カラスの個体数を減少させるため、ひとの生活環境からエサを出さない取り組みを継続していく必要があります。市ではごみ集積箱の改修をいち早く進め、生ごみがカラスのエサにならない状況を作り上げてきました。また捕獲駆除を毎年実施し、昨年度は101羽駆除しております。今後も効果的な対策について情報収集するとともに、糞の清掃等についても関係部局と住民との相互協力を進めていきたいと考えております。



長谷川 榮子
無所属

- 若緑団地の建て替え計画はあるのか
- 道の駅もりたアーストップ産直 拡張計画のその後は

問

老朽化が進んでいる若緑団地の建て替え計画はあるのか。

答

若緑団地の建て替えについて、は、桜木団地建て替え工事(平成25年度から32年度までの8年計画)完了の目途がついた後に、事業の可否について検討に入ることになるうかと考えます。

問

桜木団地の進捗状況はどうか。

答

事業着手の平成25年度は100%の予算が付きましたが、26年度、27年度は要望に対し70%の交付決定となっており、完了が遅れる可能性も出ております。

問

桜木団地の新規募集戸数と申込み者数は。

答

平成26年度は9戸に対し34人の応募。27年度は3戸に対し25人の応募でした。

問

人口減少対策の面からも住宅の整備は重要。若い世代の流出を防ぐためにも、何としても予定どおりに桜木団地を完成させ、若緑団地にも着手してもらいたいと思うが。

答

国の予算配分が縮小しており、遅れる可能性もあることから、予算獲得のため国、県への陳情に努力します。

問

道の駅もりたアーストップにある産直の拡張計画のその後は。

答

アーストップの建物が建っている部分は本市の所有ですが、駐車帯・歩道・緑地については県の所有となっています。県の所有地に市の建物の一部が含まれていることが明らかになり、是正を求められて昨年全体の測量を行い、現在県と協議中です。今後、用地取得後に関係者と協議しながら建設に向かっていきたいと考えております。

問

産直の拡張については平成23年度に着手する旨の答弁をいただいている。スピード感をもって進めてほしい。

答

平成23年当時は県の土地が一部含まれているという状況を把握しておらず、即座に着手可能という答弁になったもの。測量結果が出しだい積極的に整備に向けての議論を詰めてまいります。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の要旨を掲載しています。



松橋 勝利
無所属

● 消防再編検討委員会の議論の現状は
● 車力地区一般廃棄物処分場の
今後の見通しは

問 消防再編検討委員会の協議は、どこまで進んでいるのか。

答 本定例会に「つがる市消防署再編統合計画策定審議会」の制定案を提出したところであり、可決後、本格的に再編の検討を進めていきたい考えです。尚、審議会は市議会議員、自治会代表、消防団代表等で構成されます。

問 地域の状況が変化してきていることでもあり、救急・消防体制は早急に整備すべきと考える。計画性を持って着実に進めてもらいたい。

答 再編については本議会での条例可決後、今年度中に方針を定め、その後、審議会において最終案を策定し、31年4月から業務開始を想定しております。

問 平成29年度が利用の期限とされている車力地区の一般廃棄物処分場は、既に満杯に近く29年度まではもたないと思うが、市の見通しはどうか。

答 平成16年度に、それまでの埋立てゴミを破砕するなど残余容量を拡大しており、29年度まで利

用可能としてまいりました。ほか2地区の処分場の終了時期も迫っており、新たな最終処分場の建設に向けて作業を進めております。建設には5年程度必要なことから当面の対応策として、車力・森田両地区処分場の延命化事業を来年度から実施したいと考えております。それぞれ平成33年度、32年度までの延命化ができるものと予測です。

問 現車力処分場の隣接地を新建設用地としてはどうか。

答 市全体の環境整備計画にのっとって進める必要があると考ええます。現在の処分場の場所や数は適切であるかといったことから議論していく必要があり、行政上適切に対処しつつ住民が希望する形に添うよう努力してまいります。



平川 豊
五和会

● 企業並み会計制度導入の計画は
● 旧木造中央公民館及び各地域の老朽化した公民館の建て替えをどう考える

問 企業並み会計制度とは。

答 現在、地方公共団体の会計は、現金がどれだけ収入され支出されたかという事実に基づいて会計記録する現金主義会計（単式簿記）方式が多くを占めています。これに対し、企業会計では、現金以外の収益・費用・負債等の増減も同時に管理する発生主義会計（複式簿記）の方式をとっております。複式簿記では単式簿記では見えにくい資産・負債といったストック情報の相対的・一覧的な把握が可能となり、住民や議会、外部に対するわかりやすい財務情報を開示できることや、財政運営や政策形成を行うための基礎資料として、資産・債務管理、予算編成、政策評価等に有効活用できる等、単式簿記による現金主義会計を補完するものとなっております。

問 企業並み会計制度導入の計画は。

答 総務大臣の要請により平成27年度から28年度末まで、市が所有する動産、不動産等の固定資産台帳を整備します。また、平成29年度末までに28年度決算に係る財務書

類等を完成させ、公表を予定してまいります。

問 旧木造中央公民館建設計画の
その後は。

答 教育委員会では平成26年2月に社会教育施設整備基本構想を策定し、松の館にはない機能及び賄（まかな）いきれない機能のみを、松の館隣接地に建設し、松の館に統合する計画がありました。現在、旧木造中央公民館において行っていた活動は、松の館等で賄われており、木造地区の公民館等の建設については、今後、公共施設等の全体の状況を考慮し検討してまいります。

問 木造地区以外の老朽化した各
公民館建て替えの考えは。

答 稲垣公民館については、活動の場所を近くの公共施設に移す予定です。森田公民館は今年度、外壁等の改修工事を行い、建物の長寿命化に努めております。今後、人口減少等により公共施設の利用需要の変化が予想されることから、全体の状況を把握し長期的な視野に立つて考えてまいります。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の要旨を掲載しています。



齊藤 渡
無所属

- 市の空き家対策の動きは
- 稲わらの活用を推進すべきでは

問

市内の空き家件数は。

答

平成27年4月1日現在で、297件です。うち、危険度が高いと思われるものが24件となっています。

地区別件数

危険度の高いもの	空家数	地区
12	108	木造
5	59	森田
1	14	柏
2	44	稲垣
4	72	車力

問

空き家を現状維持した場合と解体した場合の固定資産税の違いは。

答

家屋(固定資産税上では「家屋」となる)がある場合、200㎡までは住宅用地の評価額の6分の1、200㎡を超える部分は3分の1が課税標準額になり、これに税率をかけて税額を算出する特例措置を受けています。解体して更地にした場合は非住宅用地として課税され、前述の特例措置がなくなり、土地の評価額に税法上の負担調整措置である0.7を乗じた額を課税標準額にすることとなっております。

問

空き家の所有者に対して指導または助言、勧告、命令、公

表、代執行などが行われたことはあるのか。また、空き家バンクのようなものを整備していく考えはあるか。

答

条例に基づく勧告等は、指導1件(木造)、勧告3件(木造・柏・車力)となっております。今後、データベース化や空き家等対策計画を策定してまいります。

問

稲わらの収集を予定している面積は。また、収集団体数は。

答

今年度申請されている面積は1041畝。収集団体は個人・団体を含め28名(木造地区9、稲垣地区9、車力地区8、市外2)となっております。

問

稲わらは流通のシステムを確立できればビジネスになると考える。以前行われていたすき込み事業の主管はどこか。また、飼料用米と関連する稲わらの助成金のように畑作農家への助成金について何らかの手立てを講じることはできないか。

答

平成19年から5年間、つがる市稲わら有効活用推進協議会が県からの助成金を受け、柏、森田地区140畝で実施していました。畑作農家への助成金は現在はないものの、間接的にですが稲わら売買のマッチングを実施しております。



三上 洋
芳政会

- 市の自主財源確保のためのQRコードの活用など新たな取り組みを

問

平成24・25・26各年度の本市の自主財源額は。

答

各年度の数値は次のとおり。(端数切捨て)

26年度	25年度	24年度	自主財源	歳入構成比に占める割合	前年度比
45億8千800万円	41億2000万円	41億9千万円			
18.2%	16.8%	17.8%			
11.6%増	1.8%減	—			

※26年度増額の要因は寄付金(ふるさと納税)の増額、繰入金(地域の元氣臨時基金)の増額による。

問

自主財源確保のための取り組みは。

答

市民生活にはねかえる使用料・手数料を上げる方法は当然避けなければなりません。使用していない市有財産は極力売り払う方針です。現在見直しているのがふるさと納税であり、寄付方法を見直し、記念品の物産メニューを増やした結果、8月末現在、申込件数が既に昨年を上回っております。

問

つがる市PRの積極的な発信方法としてQRコードを活用してはどうか。

答

青森ねぶた参加の折、チラシとつがるブランドのうちにQRコードを印刷しました。接続先は、つがる市ホームページ内につがるブランドです。また、市役所玄関ホール案内板にも印刷されており、市役所ホームページに接続されます。商店広告は各商店ホームページにながりメニューや店への経路等が検索できるようになっています。ただし、市ではQRコードそのものが普及していないため、今後活用方法、情報の内容について検討してまいりたいと思います。

問

市長はじめ、職員の名刺にQRコードを入れPRに活用できないか。

答

費用もさほどかからないことから前向きに検討したいと思っています。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の要旨を掲載しています。



伊藤 良二
無所属

- 市内の悪臭改善を
- 図書館建設の現状は

問 市内の悪臭発生の実態を把握しているか。また、対策は。

答 丸山周辺の悪臭の苦情が年に数件程度寄せられており、同地区養豚場での堆肥の切り返しや搬出の際に発生すると報告されています。市では、脱臭装置の設置や年8回の臭気と毎月の水質報告の義務を課しております。現状は基準以下となっており、風向きを考慮して堆肥の切り返しを行うことや完熟前の堆肥は外部に出さないことなど指導しております。

問 教育委員会で計画していた図書館等建設の構想は現在どのようなになっているのか。

答 社会教育施設整備基本構想として、旧木造中央公民館の老朽化と図書館要望を踏まえ、複合施設として整備するという構想がありました。しかし、公民館は耐震性の問題から利用者の安全確保の観点に立ち廃止し、これに替えて松の館等で活動を継続できております。このことから複合施設ではなく図書館のみの建設が現実的ですが、多額の財源が必要であり、維持補修費等も考慮し、時代に合わせ規模修正が可能

な方法で図書館整備を図っていきたいと考えております。

問 教育委員会で考えている図書館とはどのようなものか。また、イオンモールつがる柏より図書館誘致の提案があるとのことだが、どのような考え方に立ったものか。

答 図書館利用者しか行かないという固定概念を一変させた、幅広い世代が気軽に立ち寄れるスタイルの図書館を整備し、子どもから年配者までの居場所づくりと、普段図書館を利用しない人にも本と接する機会を提供する環境を整備していきたいと考えております。イオンモール株式会社からは本年6月、ショッピングセンター内に市立図書館設置について提案がありました。市最大の集客機能と図書館の複合により、まち・ひと・しごこの活性化を図り、出会い、発見、新しい文化が生まれる拠点の形成により、市民サービスの向上と教育・健康・子育て・雇用等に寄与するとともに、日本初の施設として つがる市をPRできるとした提案です。



佐々木敬藏
芳政会

- 農業行政を問う

問 飼料用米に対する交付金は来年度以降もこのままの金額なのか。また、この制度はいつまで続くのか。

答 現在のところ交付単価を変更する等の情報は入っておりません。確定し次第、農家に周知してまいります。制度の継続については、国が平成27年3月に策定した「食料・農業・農村基本計画」の中に「米政策改革の着実な推進、飼料用米等、戦略作物の生産拡大」という項目があり、平成37年の生産努力目標を110万トンとしております。このことから、平成37年度産までは続くものと考えます。

問 商系及びJAにおける飼料用米の保管場所が満杯と聞いている。ますます増えることが予想されることから、国、県に保管場所について要望してはどうか。

答 本市での主な商系の取引先は、トキワ養鶏、木村牧場で、飼料用米の5割を占めております。取引農家によると、新規の取引は控えているということであり、受け入れ先の商系では利用する分の倉庫は確保していると聞いております。また、

飼料用米の取り扱いが大きいJAつがるにしきたでは、出荷条件はあるが申し出があれば対応していくとしています。保管場所に対する要望については、畜産、耕種農家それぞれ保管場所設置の補助事業があります。ただ、大規模施設が該当となることから、今後、小規模保管倉庫設置等の補助事業創出について要望してまいりたいと思います。

問 ナラシ対策への加入率は、本年はどれくらいになっているのか。

答 今年度は、市の米価下落対策の支援や、今後の米価に対する不安から、加入者1230件、面積で4450畝と、昨年度に比較し約2倍の農業者が加入しております。

問 平成30年産米から減反政策が廃止される事について農家に浸透しているか。

答 チラシの配布や説明会を実施しております。農家にも経営について再考していただきたいと思っております。

予算・決算特別委員会

二十七年年度補正と二十六年年度決算 の審査状況をお伝えします



委員長

平川 豊

今定例会の予算・決算特別委員
会では、27年度の各会計補正予算
及び26年度の各会計歳入歳出決算
について審査しました。主な質問
及び答弁は次のとおりです。

議案第76号

平成27年度つがる市一般会計補正予
算（第5号）



松橋勝利委員

農林水産業費の多面的機能支
払事業（旧農地・水保全管理共同活動
支援事業）における各団体への指導
の方法は。



市と土地改良区で行っており、
計画段階では内容が適正であ
るかを見て適正さに欠ける場合は指

導している。実績提出段階では当初
計画に沿って行われているかを
チェックしている。



長谷川 榮子委員

衛生費の備品として衣類リサ
イクル回収ボックスが計上されてい
る。非常に良い事業だと思うが設置
場所があまり周知されていない。市
内各地区に1か所ずつの設置を検討
願う。



衣類リサイクル回収ボックス
の事業は、平成26年度から実
施し、現在はイオンモール柏食品館
の西入口に設置している。今回はシ
ルバー人材センター（旧老人福祉セ
ンター）に設置のための補正。今後
も増やしたいと考えている。

議案第80号

平成26年度つがる市一般会計歳入歳
出決算の認定を求めるの件



松橋勝利委員

前年度より徴収率が上がって
いることは評価するが、いくつかの
項目で不納欠損額が増加している。
税金は最も重要な自主財源であり、
苦しいなか完納している納税者も多
い。不納欠損を出さないためどのよ
うな対策をとっているのか。



不納欠損のほとんどは、生活
保護、長期の病気等による収
入の減少、破産や親の借金など様々
な事情による滞納が元となり生じて
いる。滞納額を減少させるため臨戸
徴収、個別面談、電話催告、預貯金
調査、差し押さえなど、様々な方法
をとっているが、まずは現年度分の
未済額を増やさないう、昨年4月
収納強化対策プランを改訂して徴収
に取り組んでいる。滞納分について
は、特別滞納整理強化月間を新設し
時間を延長して臨戸徴収、電話催告
等を実施。また、西北県民局や市町
村税滞納整理機構と共同で集中臨戸
徴収を実施するなど収納対策を強化
している。早期に何度でも足を運ん

で滞納者の実情、状況を把握し滞納
相談を実施していくことが滞納額減
少、ひいては不納欠損額減少につな
がるものと考えている。今後も全力で徴
収対策に取り組んでいく。

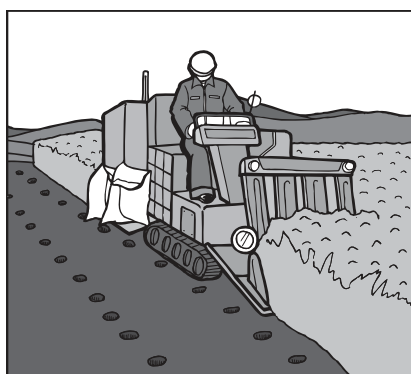


長谷川 榮子委員

農林水産業費の人・農地問題
解決加速化支援事業ではどのような
問題を取り上げているのか。また、
新規就農者への市の指導はどのよう
に行っているのか。



今現在は、地区の農業の担い
手、リーダーの育成問題を取り
上げている。新規就農者への指導
は、年2回計画書と実績を提出いた
だき、それをもとに指導。また、市
で開催の研修など勉強会も実施して
いる。



総括質疑

今定例会では、伊藤良二議員による総括質疑がありました。内容の一部を掲載します。

問

平成26年度の各財政指標は。

答

左記のとおり。

〔〕内は前年度比
実質公債費比率 13.3%【-1.2】
 (一般財源の規模に対する公債費の割合を示したもの)
将来負担比率 133.3%【-4.8】
 (一般会計が将来負担すべき実質的な負債を指標化したもの)
財政力指数 0.23【横ばい】
 (行政活動を行う財源をどのくらい自力で調達できるかを示すもの)
経常収支比率 86.0%【+2.3】
 (人件費などの経常的な経費に対して一般財源がどれ位あるかを表すもの)

問

市の定員管理の状況は。また、ラスパイルス指数(注)は。

(注) 国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員行政職の給与

答

平成23年度から27年度までの5力年計画で97人削減と設定していましたが、計画より15人多い112人の削減で、本年度の職員数は468人となっております。ラスパイルス指数は94.5です。

問

今後5年間の普通交付税の減額状況は。

答

これまで25億円の減少と説明してきたところですが、本年の交付税算定結果を見ると、約19億円の減少と見込まれます。国からの経費加算があり、減少幅が6億円ほど縮小したものです。総務省が平成の大合併で誕生した自治体に特例分の7割程度を継続して受け取れるよう、新たな財政支援策として決定したことにあります。

問

市の財政は、現在どのような状況なのか。

答

健全化の判断比率も基準内であり、このまま維持できればと思っています。ただ、今後の厳しい状況を鑑み、基金をできるだけ積み増して、将来世代に負担のないようにできることを最大限努力しておく事が重要と認識しております。

第3回臨時会

(仮称)車力地区統合小学校建設工事 請負契約締結の提案を可決

平成27年8月17日、第3回臨時会が開催され、次の5議案を可決しました。

議案第71号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件
 (つがる市過疎地域自立促進計画の一部変更)

議案第72号 平成27年度つがる市一般会計補正予算(第4号)

※青森県西部海区漁業調整委員会委員補欠選挙に伴う補正

議案第73号 工事の請負契約の件

(仮称)車力地区統合小学校建設工事)

契約の相手方 株式会社 伊藤鉱業

請負代金 16億5240万円(消費税込)

議案第74号 工事の請負契約の件

(森田小学校大規模改造工事)

契約の相手方 株式会社 乳井建設

請負代金 2億5876万8千円(消費税込)

議案第75号 財産の取得の件

(仮称)つがる市総合健診センター建設用地(6098.17㎡)

契約の相手方 つがる市木造中館 川嶋 和夫

取得価格 8561万1701円

所管事務調査

10月14日、総務常任委員会では、老朽化が進む消防分署、分遣所を巡回。消防署員の説明を受けながら施設・配置車両を中心に視察しました。視察終了後は消防本部において火災・事故の発生状況、それに対する出動状況や所要時間はじめ、今後の消防署再編等についての説明を受けました。委員からも活発に質問が出されました。

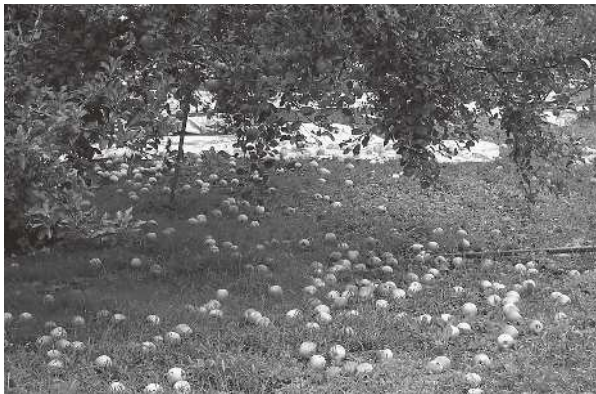


稲垣分署

爆弾低気圧による 暴風被害を視察

加工業者への落果引取りについて働きかけるよう市に要望

平成27年10月3日(土)、議員団は暴風被害の特に大きかった柏地区のりんご園地を視察。柏地区全体で140㍻（2割）の被害とのことだが、わい化樹が根こそぎ倒れているケースも見られ、また、樹上損傷（擦り傷）が多大で、落果と合わせると実質的な被害は2割以上となる。議員からは市に対し、加工業者や農協に落下リンゴの引取りを拡大するよう働きかけてほしい旨などを要請した。



請願

■請願第1号

知的障害者グループホーム建築計画に伴う周辺整備に関する請願（街灯設置）

請願人 社会福祉法人 健誠会 理事長 小林 澄雄

議決結果 採択（継続審査中だったが、建築計画の許可がおりた事と、利用者の安全、業者の出入りなど交通量を勘案し採択とした）

■請願第4号

稲垣町鶴見里・細沼地区の融雪溝設置に関する請願

請願人 鶴見里自治会 会長 蝦名 貴

細沼自治会 会長 尾野 武平

議決結果 不採択（住宅密集度、利用頻度、緊急性等を総合判断し不採択となった）

行政視察来庁

岐阜県高山市議会
産業文教委員会 10名

視察テーマ 小学校の統合について

平成27年8月21日、上記のテーマで本市に行政視察があり、議長ほか教育委員会から教育部長、総務係長が出席。説明後、質疑に応じました。



今回は、特別栽培米など、こだわりの農産物生産に取り組んでいる小笠原俊也さん（木造吉見）です。

手掛けて
いる作物

米・大豆・ネギ・ブロッコリー・ニンニク

特別栽培米を作り
はじめたきっかけ

プロとして手間暇かけたおいしい米を作りたい。それが、とりもなおさず収益アップにつながると考えた。

農業の現状
に思うこと

TPP締結を控え、生産者の収益向上に貢献する仕組みづくりが急務。具体例としては、不足している米倉庫を広域で建設、拠点化し、航路（船）で出荷する。これにより西日本への販売を低コストで実現でき輸出も視野に入ってくると考える。

今後の展望

広域的観点に立ち、米の生産地区を目的別に特化。そんな構想を持つ。



◆議会に望むもの 地域に入り現場の声を吸い上げてほしい。姿が見たい。

編集室から 取材してみて、飛躍のための風を待つ大鷲が岩場から地上を見渡している、というような印象を持ちました。実績と行動力、発想力のある農業者側と目的を一にする支援側（議会、行政やJAなど関係機関）がタッグを組めば、市の農業、ひいては市全体の活性化ももはや理想論ではなくなります。練り上げて歩を進めるべきであり、農業活性化検討特別委員会が立ち上がった今年はまさに好機と確信しました。

8月2日～3日	首都圏トップセールス（東京）
9日	第3回メロン・スイカフェスティバル
15日	つがる市成人式
21日	行政視察来庁 岐阜県高山市議会
25日	議会改革検討特別委員会
27日	議会運営委員会
30日	馬ねぶたパレード・新田火まつり
9月 1日	つがる市福祉顕彰式
3日	第3回市議会定例会開会
7日～8日	本会議（一般質問）
9日～10日	予算・決算特別委員会
14日	総務常任委員会・教育民生常任委員会
15日	経済建設常任委員会
18日	第3回市議会定例会閉会
26日	津軽まほろば会定期総会（東京）
10月 11日	つがる市社会福祉大会
14日	総務常任委員会所管事務調査
20日～22日	教育民生常任委員会行政視察
21日～23日	総務常任委員会行政視察
26日	全国市議会議長会基地協議会東北部会総会（三沢）
29日	つがる市表彰式

これまでの議会の活動 の一部を紹介します

（議長・副議長・議員団）



8月18日、ボランティア連絡協議会主催の車いす体験活動に議員も参加。議場も対象となり、段差での車いすの操作法等を確認。参加者からは傍聴席への移動についての要望が寄せられました。

こちら 編集室

今年の馬ねぶたパレードは、合併十周年、節目の年、東京ディズニーリゾート・スぺシャルパレードと千葉県柏市立柏高校吹奏楽部の参加もあり、過去にない盛大なパレードに大きな感動をいただきました。さて、収穫の秋、この広報が市民の皆さんに届く頃には、稲刈り・りんごの収穫も一段落し、ほっと一息ついている頃ではないでしょうか。今議会では議員定数を18名に削減しました。市民の声が市政に届きにくくなるなど反対討論もありました。しかし、本市の基幹産業である農業、稲作における米価の低迷、人口減少、自主財源の確保など厳しい状況が予想されることから、議員自らが身を切る改革を示し、なお一層その責任を自覚し、議会の運営、市政発展に努めて参ります。

（佐藤 記）

市議会だより編集委員会

委員長 三上 平
副委員長 伊藤 川
委員 佐藤 良
委員 佐藤 直
委員 佐藤 志
委員 佐藤 光
委員 田中 敬
委員 田中 透